

第 7 号

発行 秦野パサデナ友好協会  
事務局 〒257-8501 秦野市桜町一丁目3番2号  
(秦野市くらし安心部市民自治振興課内)  
TEL 0463(82)5118 FAX 0463(82)6793  
E-mail siminjiti@city.hadano.kanagawa.jp  
発行日 2011年8月25日

## 新会長に望月國男氏

### 副会長に玉川澄江・事務局長に野呂昌子両氏



佐野美三雄前会長



望月國男新会長

今年度、役員の変更期を迎え、佐野美三雄会長、前島繁伸副会長が勇退され、新たに望月國男副会長が会長、玉川澄江事務局長が副会長、野呂昌子理事が事務局長に選出されました。それぞれに抱負などをお聞きしました。

**Q1** 4年間会長としてご尽力をいただきましたが、印象に残っていることは。

＝平成 18(2006)年、ジョン・マンラブ市長一行が来秦され、青少年交流の提携書が交わされました。その趣旨の実現を目指し、青少年の交流が行われたことです。特に平成 21(2009)年 11 月には姉妹都市提携 45 周年を記念して、パサデナから中学生 4 名を含む 17 名が来秦されました。パサデナから子どもが来て交流を深めるのは初めてのことで、意義深いものがありました。

それから、女性が役員になり、積極的に活動に参加していただき協会が活性化されました。大変感謝しています。

**Q2** これからの交流の在り方などについてお願いします。

＝今までは総合的な交流が中心でしたが、これからは、規模は小さくても文化、教育、行政といった分野別の交流を進めたらどうでしょうか。

それから、今、秦野市国際交流協会、秦野・坡州友好協会、秦野パサデナ友好協会がそれぞれの目的に沿って、活動を行っています。融合してみたらどうでしょうか。今年度からスタートした総合計画のキーワードは「協働」です。国際交流も「協働」の精神を生かしてください。

**Q1** 会長就任おめでとうございます。まず、パサデナとの交流にはいつごろから参加しているのですか。

＝昭和 55(1980)年ジム・クラーク市長一行が来秦された折に、パサデナ友好委員会(当時)に入会しました。実際にパサデナを訪問したのは、昭和 59(1984)年に市教育委員会が始めた教職員等海外派遣事業で行きました。

**Q2** 会長としての抱負をお聞かせください。

＝3つのことを考えています。1点目は、9月に開催される「中学生英語スピーチコンテスト」です。秦野市国際交流協会が中心となり、秦野・坡州友好協会、秦野パサデナ友好協会の三者が、初めて一緒になって行うこの事業を、将来の秦野の国際交流の在り方を考えるよい機会にしていきたいと思います。

2点目は、平成 26(2014)年には姉妹都市提携 50 周年を迎えます。そのための準備体制を整えて、今年度は記念誌をつくるための編集委員会を立ち上げたいと思います。やがて、記念行事実行委員会も発足させなければなりません。

3点目は、現在の事業の充実です。これらの活動に多くの会員が気楽に参加でき、楽しめるように工夫していきたいと思います。

## ひとことごあいさつ申し上げます

副会長

さらなる組織の拡大と充実を目指し、今まで関わっていらした方たちが築き上げたものを大切にしながら、一人でも多くの市民参加が得られるよう、各事業に皆と協力し合い取り組みたいと思います。(玉川)

事務局長

平成 7 年来、4 回のホストファミリーの経験を通して姉妹都市親交を深めさせていただきました。今年度から事務局長として、秦野パサデナ友好協会の親善・交流の拡大に向け、「通りのよい管の役目」に励んで参ります。(野呂)



# 総会開催 役員が交代

5月10日(火)、2011年度定期総会が行われ、新旧役員の交代と事業内容などが承認されました。

## 2011年度

- ☆ パサデナ姉妹都市交流促進フォーラムの開催
- ☆ 「第32回秦野市民の日」事業への出店(11月3日)
- ☆ 情報誌「Howdy」の発行(年2回発行)
- ☆ 姉妹校間の交流促進支援
- ☆ 会員親睦事業の企画・実施
- ☆ 記録集の編纂に伴う資料収集

今年もハザー、テキサス  
フードの販売を行います。  
ご協力お願い致します。

その他、東日本大震災復興支援義  
援金を集め、送金したいと考えてい  
ます。年間を通して各事業開催時に  
受け付けております。みなさまのご  
協力をお願いいたします。

## ありがとうございました 前島氏・小島氏ご勇退

昨年度いっばいで退任された前島繁伸さんは、昭和53(1978)年から33年間パサデナと共に協会の発展に寄与されました。長い間、ありがとうございました。また、小島富雄さんは、平成22(2010)年に辞任された小島英之さんから役員を引き継ぎ、今回の総会で改めて承認されることとなりました。

昭和53年第1回民間訪問団の一員として訪問して以来、30年間以上活動に関わってきました。活動一つ一つがよい思い出になっていますが、新しい交流の第一歩としての青少年交流の実現は、実に感慨深いものがあります。

前島繁伸

## 仲良き交際のお手伝いを

パサデナ市との接点は1965年以来です。今回仲間に加えていただき、外野席から眺めていた友好の活動をプレイヤーとして、支えてゆくことになりました。微力をささげていきます。

小島富雄

## Congratulation Message



パサデナ姉妹都市協会会長のエド・ゴードさんより、総会開催のお祝いメッセージをいただきました。

Dear Friends,  
We want to send our warmest regards and congratulations to the Hadano Friendship Association on the occasion of your Annual Meeting on May 10, 2011.  
We wish that we could be with you on this special occasion.  
Your friendship has changed our lives through our visits to your city, your homes and introduction of your culture to ours. Your visits to the City of Pasadena and Houston have taught us the meaning of mutual understanding between citizens of different cultures. It is through these cultural exchanges that we have learned to work together for the betterment of the citizens of both of our countries.  
It is our profound wish that the City of Hadano and the Hadano Friendship Association will continue to grow and prosper in the future, and the friendship that exists between our two cities will endure for many years to come.  
With Sincerest Regards,  
Ed Goad, President of Pasadena Sister City Association

秦野パサデナ友好協会定期総会の開催に際しまして、我々一同、心よりお祝い申し上げます。この特別な場に出席が叶わず残念です。皆さまの友情は、我々の人生を変えました。秦野市を訪問し、日本の文化を学びました。皆様の来訪されたときには、異なる文化を持つ市民間の相互理解の意義を教わりました。

文化交流を通じて、我々は2国の市民のために共に働くようになりました。秦野市と秦野パサデナ友好協会が今後さらに発展、繁栄し、この2つの市をつなぐ友情が未来へと続いていくことを心より願っております。



東日本大震災発生から4日後の3月15日、ジョニー・イズベルパサデナ市長から、秦野市民に向けてお見舞いメッセージが届きました。古谷市長もそれに応え、相互のメッセージ交換が行われました。また、エド・ゴード会長からも震災直後よりメッセージをいただいています。

We share the shock and grief of all Japan, and truly the world, at the catastrophic effects of the March 11 earthquake and subsequent tsunami that has brought so much terrible destruction. As we view the photos and videos that continue to come out of the hardest hit areas our hearts go out to all the Japanese people, and especially to our friends in Hadano. It is our understanding that although widespread damage was sustained in your area, Hadano was spared most of the destructive force. We can only hope that your beautiful city, and your residents, escaped the worst of this disaster. We are encouraging everyone in our community to send funds to Japanese and international agencies working to minimize the suffering of survivors and will appeal to our residents to remember our sister city Hadano as they give to help alleviate the effects of this tragedy. Please know that our thoughts, our heart-felt prayers, and our best wishes are with you, and our faith in the ability of the Japanese people to overcome this horrific event remains unshaken. Today, all the world looks to your country with one heart and one mind, praying that this terrible event will unite us all in understanding more clearly our common humanity, and our shared destiny.

Johnny Isbell, Mayor City of Pasadena.

3月11日に日本で起きた地震及びそれに伴う津波による災害につきまして、衝撃と悲しみに襲われています。写真や映像を見ながら、日本の皆さま、そして秦野の皆様の安全を祈念してやみません。被害が広範な地域に広がっているようですが、秦野は大きな被害を避けられたと聞いております。我々はパサデナの住民に対し、日本や国際的な機関を通し義援金を送るよう働きかけており、パサデナ市民が姉妹都市・秦野を改めて意識するよう呼びかけております。我々の心は皆様とともにあり、皆様の無事を心よりお祈りしております。日本の皆様には、この恐ろしい災害から復興に向けて立ち上がる力があると強く信じています。この大災害によって、世界中が一つになり、今、心一つにして日本を見守っています。

パサデナ市長 ジョニー・イズベル



わら 陽気な  
はだの  
ピョウロ  
リンダ・グールドさん

デラウェア州ご出身のリンダさんは、秦野在住5年半。ヨガが大好きで、現在ご自身のヨガスタジオで先生をされています。震災後、チャリティーを兼ねたイースターのイベントを開きました。

Q: Why did you decide to have a charity instead of just donating money?  
A: I feel so lucky living in a developed country. We have work, a house, food, clothes, health care...all the basics for a comfortable life. But lots of people in the world don't have those things, so in February I began planning an event to support Medicins Sans Frontieres, an NPO that goes to disaster areas and provides needed health care. Then the earthquake hit. Everyone wanted to help, but the whole country was in shock, and I wasn't sure if I should continue with the event. The Easter theme helped me decide to go forward. Easter is all about renewal and rebirth, so my yoga students and I decided to have the event but use the donations to help kids in Miyagi-ken renew their lives, so to speak. ただ普通に募金するのではなく、なぜチャリティー・イベントをしようと思われたのですか?  
——幸運にも私は今、日本という大変恵まれた国で暮らしています。しかし 東日本大震災が起きてしまいました。被災地の子どもたちのために何かしたいと思い、イースター・イベントを企画しました。再生・復活を意味するこのお祭りをたくさん子どもたちと一緒に楽しみ、みなさんに募金にも協力していただきました。この義援金は、宮城県の子どものために使わせていただこうと考えています。

Q: Why did you choose Miyagi-ken?  
A: I'm from Delaware, and Miyagi-ken and Delaware are sister States. Also, one of the students who attends the school where my husband teaches is from an affected area and she spent time in Delaware through the sister-State student exchanging program. It was just a natural Delaware, Hadano, Miyagi connection. Next year, I'd like to continue that connection by having a joint Easter egg hunt in Delaware and Hadano, and maybe even Miyagi.

なぜ宮城県なのですか?  
——私はデラウェア州出身で、宮城県とは姉妹都市だからです。また、夫が教えている学校(上智短大)の生徒さんが取り持つ縁もありました。来年もこのイースター・イベントを、デラウェア州と秦野、そしてできれば宮城県でも開催し、この三者のステキな関係を続けていきたいと思っています。

ジョニー・イズベル市長様  
このたびの地震に際しては丁寧なお見舞い状をいただき、厚くお礼申し上げます。日本の被災の概要はニュース等でご承知のことと思いますが、幸いにして本市の被害は微小でありました。原子炉をめぐる問題につきましても、現在のところ、影響が出ておりませんが、状況を注視している現状であります。

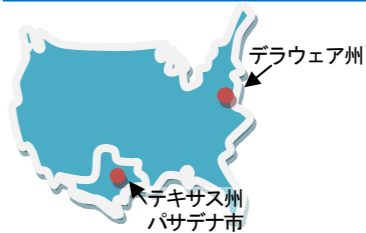
しかし、本市秦野の被害が少なかったとはいえ、被災地の惨状、被害の大きさはすさまじく、日本が一つとなってこの未曾有の災害を乗り越えなければならぬと感じております。被災地の復興のため、本市としても全力で支援活動を行ってまいります。

震災当初より、日本に対しアメリカをはじめ世界各国より救助・支援の手を差し伸べていただきました。世界の皆さんの協力のもと、日本は今、復興に向けて少しずつ立ち上がろうとしています。

姉妹都市パサデナ市の皆さまからの温かいお言葉とご支援に、心より感謝申し上げます。

平成23年3月31日

秦野市長 古谷義幸



## パサデナ市地元新聞にも報道 東日本大震災



## Howdy!

～秦野とパサデナの親善交流を応援しています～

株式会社 藤野製作所  
代表取締役会長 藤野 誠  
秦野市曾屋338番地





# Jerryさん、さようならありがとう! Rest in peace

平成 23 (2011) 年 5 月 4 日 (水・現地時間)、パサデナ姉妹都市協会会員で、昨年亡くなられたバーバラ・イーズ元会長の娘婿にあたる、ウォルター・ジェリー・ダナウェイさんが、ご病気のため 51 歳の若さで逝去されました。

ジェリーさんは、平成 15 (2003) 年、同 18 (2006) 年の親善訪問団で来秦され、秦野からパサデナを訪問した際はホストファミリーとして受け入れをしてくださるなど、秦野とパサデナの交流に大きく貢献されました。

ジェリーさんと交流の深かった 3 組の会員から、思い出話をお聞きしました。



忘れません!  
ジェリーさんの優しさ

### 谷屋彰さん (秦野市役所政策部長)

2007 年 10 月にパサデナを訪問した際に、ジェリーさんのお宅にホームステイしました。最終日は、ステーキパーティーを開いてくれました。ジェリーさん自ら肉を焼き、皆でワイワイとビール片手に楽しみました。焼き加減の批評をしたり、こうやって焼くんだと、ベーコンを肉の上へのせ、フレーバーを肉に染み込ませるといううんちくを教えてくださいました。ジェリーさんの訃報は、突然のことで、本当にびっくりしています。

### 山谷秀樹・洋子さんご夫妻

パサデナのお客様を初めてお世話したのが、ジェリーさん夫妻でした。パサデナを訪れた時、お世話になったのもジェリーさん夫妻のお宅でした。初めて会ったとは思えない親しみやすい人柄のジェリーさん。ヒューストンの空港で再会を堅く約束して別れました。今、私と妻は悲しみの中にいます。

### 望月國男会長

いつも明るく笑顔が素敵でした。秦野の居酒屋で小皿を叩いて飲んだ酒は忘れない。昨年秋に妻と訪問した際、ジェリーが作ってくれた鶏肉のマッシュルームソースかけの味は格別でした。

## 秦パ交流記

シリーズNo.6

国際外交へと発展しているパサデナとの交流

一九六四年東京オリンピック開催、東海道新幹線が開通された年に秦野市はパサデナ市と姉妹都市提携しました。提携から約十年間は両市でのあいさつ状の交換が中心でしたが、初代府川会長を団長とする市民訪問団が訪問してからは、人的交流が中心となり、両市民の様々なチャンネルが広がり、国際外交へと発展してきました。今後、青少年交流をはじめとする国際外交の輪がますます広がることを祈念申し上げます。

(前副市長 中村良之)

### 編集後記

3.11の津波のニュースが世界中を駆け巡ると同時に、パサデナからのお見舞いメールが次々と届きました。

両市が常日頃から互いを思い、かけがえない姉妹たることを再確認しました。



人生の幸せはお口の健康から

診療時間 9:00AM~12:00PM 休診日 日曜  
2:00PM~ 7:00PM 祝祭日

前島歯科医院 一般歯科・小児

秦野市栄町5-21 TEL 0463-83-8877  
FAX 0463-83-8877

## アトリエこみやま

# 月の輪倶楽部

主宰:込山 也寸子

芸術に国境なし!

国際交流を応援します。

秦野市寿町 10-2

TEL: 0463-82-8858